

ネイティブプロテウス・ウルガリスコンドロイチナーゼABC

Cat. No. NATE-0131

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

コンドロイチナーゼABCは、(1-4)- β -D-ヘキソサミニルおよび(1-3)- β -D-グルクロンシルまたは(1-3)- α -L-イドロノシル結合を含む多糖類の除去的分解を触媒し、4-デオキシ- β -D-グルク-4-エヌロンシル基を含む二糖類に交換します。コンドロイチン4-硫酸、コンドロイチン6-硫酸、デマトン硫酸に作用し、ヒアルロン酸には全く作用しません。分子量は約120 kDaで、86 kDaと32 kDaの2つの非同一サブユニットを持っています。pH最適値はコンドロイチン硫酸で8.0、ヒアルロン酸で6.8であり、温度最適値は37°Cです。1 mM Zn²⁺は阻害剤として作用し、0.05 M アセテートは酵素の活性化剤です。

用途

この酵素は、成体ラットの脳細胞を使用して、コンドロイチン硫酸プロテオグリカンに急性で長期的な変質を誘導することの結果を研究するために使用されてきました。グリコサミノグリカンは、フレッシュな牛の角膜ストローマから得られたケラトサイト細胞培養におけるコンドロイチン/デルマトン硫酸の定量的ために、コンドロイチナーゼABCで消化されました。

別名

EC 4.2.2.4、コンドロイチナーゼ；コンドロイチン ABC エリミナーゼ；コンドロイチナーゼ ABC；コンドロイチン ABC リアーゼ；コンドロイチン硫酸 ABC リアーゼ；ChS ABC リアーゼ；コンドロイチン硫酸 ABC エンドエリミナーゼ；コンドロイチン硫酸 ABC エンドリアーゼ；ChS ABC リアーゼ I；9024-13-9

製品情報

由来

プロテウス・ウルガリス

形態

凍結乾燥粉末。

EC番号

EC 4.2.2.4

CAS登録番号

9024-13-9

活性

50-250 ユニット/mg タンパク質（基質としてコンドロイチン硫酸Cを使用）；0.3-3 ユニット/mg 固体（基質としてコンドロイチン硫酸Cを使用）

緩衝液

0.01% 牛血清アルブミン水溶液 (BSA): 溶解性

単位定義

1ユニットは、pH 8.0、37°Cで、コンドロイチン硫酸Aから1.0 μ moleの2-アセタミド-2-デオキシ-3-O-(β -D-グルク-4-エン-ピラノシルウロン酸)-4-O-スルフォ-D-ガラクトース、またはコンドロイチン硫酸Cから1.0 μ moleの2-アセタミド-2-デオキシ-3-O-(β -D-グルク-4-エン-ピラノシルウロン酸)-6-O-スルフォ-D-ガラクトースを1分あたり放出します。

保管・発送情報

保存方法

-20°C